

サービスの高度化について

問 市内に住む外国人への対応や観光、企業誘致への情報発信窓口業務や語学への支援、地域参加への誘導等を専門に行う課、室の設置をすべきと思うが

答 国際交流、協力事業への助成や、後援等を行い、外国人住民が円滑な日常生活を送れるよう専門の担当課の設置を検討する。事業業務も専門的な知識を必要とする分野が多くなっている。サービスの低下を招かない適切な対応を図っていききたいと思えます。

行政の効率化について

問 合併により、有効な職員登用ができるように期待されている。女性や中堅職員の積極的登用を図り、行政の活性化を図る必要があると思うが

御前崎地区の

公民館設置について

問 現在みなと公民館に2地区が同居している状態です。又、津波等の危険地域でもあり早期に分割を要望しますが

答 公共サービスのあり方について、行政、民間、市民との役割分担を見直していく。合併協議会で職員数を10年間で50名減を目標に掲げ人件費や物件費の削減効果を見込んでいる。その為計画的な採用、退職管理で適正化を図っていきます。

広域的視野に立った

まちづくりについて

問 道路や公共施設等の基盤整備、土地利用など、災害に強いまちづくりの必要がある。市主導で事業計画を立案すべきと思うが

答 地域ごとの整備度合いに不均衡の無いよう市の総合計画に沿った道路整備計画を策定し進めていきたい。しかし緊急度の高い要望内容等の場合は、優先して実施できるようにしたいと考えています。

新設道路について

問 灯台下から中電までの海岸道路は、海岸侵食が激しく台風時は高波等で通行止めも頻繁にあり津波避難道路の整備と灯台周辺の観光活性化に合わせで必要と思われるが

答 館長や町内会長を中心に検討いただいた結果、白羽地区は文化会館の一部を白羽公民館として活用する方向で協議を進めています。御前崎公民館は、地震による津波危険区域内にあるためなるべく早期に移設を検討する必要がありますと考えております。

灯台周辺

観光整備について

問 大型宿泊施設が撤退し観光地誘客が心配である。入込人口の増加を図るため灯台資料館の設置を希望しますが

答 資料館は、市の総合計画を策定する中で検討していきまます。山間地の市町村と観光交流を継続、推進し今後、どのように交流の輪を広げていくべきか検討してまいります。